

光による日常記憶の増強

講演者：**竹内 倫徳** 先生

東京大学大学院医学系研究科博士後期課程修了
エジンバラ大学認知神経システムセンター博士後研究員

日時：平成29年7月31日（月）16時30分～17時30分
場所：医学図書館（2階）十全記念スタジオ

脳の海馬に形成されたささいな日常の記憶の多くは1日で忘れられますが、直前や直後に新奇な体験を伴うと忘れにくくなることが知られています。光遺伝学を用いた最近の私達の研究により、新奇な体験により活性化する青斑核から海馬へのドーパミンの供給が、通常忘れ去られる日常の記憶を長期記憶へと変換させるゲートとして働いている可能性が明らかになりました（Takeuchi et al., Nature, 2016）。

この度神経科学学会にて御来日の折に、金沢大学にてご講演いただく機会を得ましたので、どうぞ奮ってご参加下さい。

なお、セミナーは日本語で行っていただく予定です。

連絡先：金沢大学子どものこころの発達研究センター
特任准教授 辻 知陽 内線 2458